

## 俳句を使ってSDGsを考えよう!

松山は言わずと知れた「俳都」。俳句のまちとして全国的に有名です。  
みなさんも学校や家庭で俳句に親しんでいると思います。  
もう気づいていると思いますが、俳句は17音、SDGsの目標も17!  
俳句を使って松山からSDGsの大切さを発信していきましょう。



正岡子規

みなさんも音楽の時間や集会でよく歌っている「春や昔」。  
のぼさん(まさおかしき)の俳句で作られた歌ですね。  
この歌詞の中に「故郷や どちらを見ても 山笑う」という俳句が出てきます。

この句、SDGsの目標の何番に当てはまると思われますか? 3番かな? 15番かな?  
ほかにも当てはまりそうです。みんなで話し合ってみるのも楽しそうです。

みなさんも俳句を作ってSDGsについて考えてみましょう。名づけて「俳句でSDGs」。  
みなさんの身の回りのできごとや考えたことを自由に俳句にする  
だけで、きっとSDGsに関する内容が入っていますよ。  
友だちと家族と先生と…いっしょに楽しく取り組んでみましょう!



松山城

考えた俳句を書いてみましょう!

【参考文献】『世界がぐっと近くなる SDGsとボくらをつなぐ本』(学研プラス)  
『未来を変える目標、SDGsのアイデアブック』((一財)Think the Earth)  
『未来の授業—私たちのSDGsの探求Book』(宣伝会議)



日本ユニセフ協会  
SDGs CLUB

タブレットやスマート  
フォンをカメラ機能に  
して、かざしてみよう。

発行 : 国際協力・国際理解推進実行委員会(松山市産業経済部)  
制作委員 : 敷村 弥生 (公財)松山国際交流協会・まつやま国際交流センター所長  
(五十音順) 篠原 慶史 松山市立味生第二小学校・教諭  
竹内よし子 (特非)えひめグローバルネットワーク・代表理事  
竹下 浩子 愛媛大学教育学部・准教授  
藤原 一弘 愛媛大学教育学部・准教授  
松本 光司 (特非)Community Life・代表

制作 : (株)学研プラス 堤 金幸(企画) 前田佳香(デザイン) 後藤 繭(イラスト)  
入プロダクション合同会社 入澤宣幸(編集)  
こだま印刷株式会社 (印刷・製本)

発行日 : 2020年10月20日 初版



この冊子は、一般財団法人自治体国際化協会の  
助成事業(モデル事業)により作成しました。



~まつやまから持続可能な世界へ~

みんなて始めよう!

# 未来のための

エスディージーズ

# SDGs

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS		

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

名前 \_\_\_\_\_

学校 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_